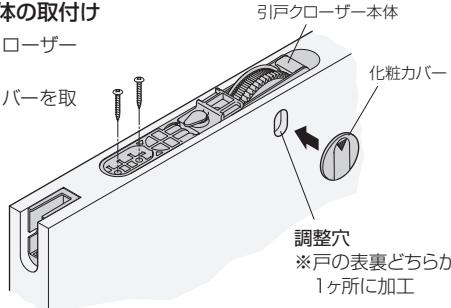


ドア錠
1
丁番
2
スライド 丁番
3
開き戸 金具
4
引戸錠
5
引戸 金具
6
上吊式 引戸金具
7
移動 間仕切 金具
8
折戸 金具
9
室内用 アルミ建具
10
取手 引手
11
スライドレール ワイヤー バスケット
12
収納・ 吊戸金具
13
その他の 家具金物
14
物干金具・ 諸金具
15
真鍮 アティケイ
16
設計 施工 ガイド

施工ガイド

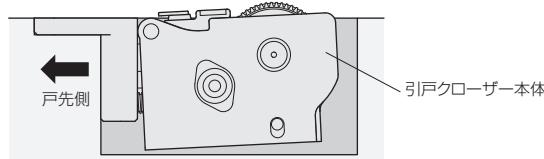
5.引戸クローザー本体の取付け

- ①戸の加工部に引戸クローザー本体を取り付けます。
②戸の調整穴に化粧カバーを取り付けます。



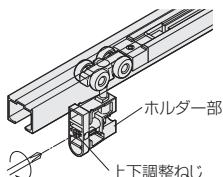
ご注意

引戸クローザー本体を戸先側にしっかりと押し当てながら固定してください。

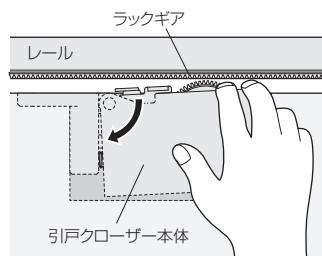


■戸の吊込み・位置調整

- ①上部吊り車の上下調整をします。ホルダー部の上下調整ねじを左に回し、最下位までホルダー部を下げます。



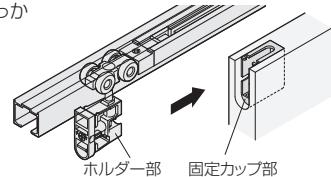
- ②下部ガイドに戸の下部ガイド溝を、挿入します。



- ③引戸クローザー本体を手で押さえると、引戸クローザー本体がゆっくり下がります。その状態で戸を起こし、レールのラックギアと噛み合せます。

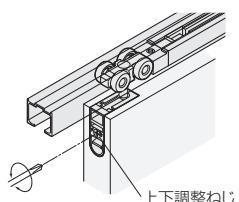
- ④固定カップ部にホルダー部をしっかりと差込みます。

※しっかりと挿入し、抜けないことをご確認ください。



- ⑤ホルダー部の上下調整ねじを回し、戸の位置調整をしてください。

※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。

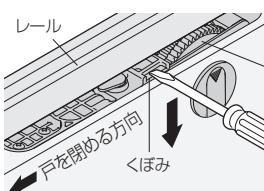


※ソフトクローズの速度調整はできません。

■自動駆動力の設定

初期状態の自閉駆動力は適正ではありません。
引戸クローザーの設定をする必要があります。
この操作は必ず、引戸を吊り込んだ状態で行ってください。

- ①戸を手動で閉めさせてください。



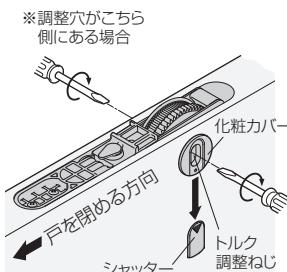
- ②レールと戸の隙間から引戸クローザー本体のくぼみにマイナスドライバーなどを差し入れて、引戸クローザー本体を押し下げます。駆動ギアが回転するので、自然に回転が止まるまで引戸クローザー本体を押し下げ続けます。

※駆動ギアが自然に止まる前に回転を止めてしまうと、正常に作動しなくなります。

- ③化粧カバーのシャッターを下にスライドさせて外します。

- ④マイナスドライバーで、駆動ギアの側面にあるトルク調整ねじを、矢印の方向へ回します。4回転が標準的な駆動力になります。

- ⑤シャッターを化粧カバーにはめ込みます。



■引戸クローザーの調整

引戸が閉まりきらない場合

- 戸が何かに干渉して、摩擦抵抗が発生している場合があります。戸に干渉する箇所がないようにしてください。
●駆動ギアが空回りしている場合は、吊り車の上下調整を行い、レールのラックギアと駆動ギアがかみ合うようにしてください。
●以上の問題が解消しても閉まりきらない場合は、上記「■自動駆動力の設定」を参照し、トルク調整ねじを回して駆動力を強めてください。調整する際は、戸が閉まる速度をこまめに確認しながら調整してください。

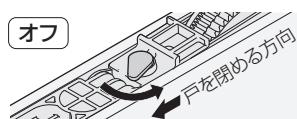
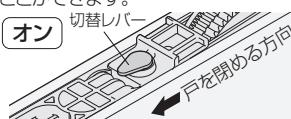
引戸を開ける時に重い・勢いよく閉まってしまう場合

- 「■自動駆動力の設定」の手順を最初から行ってください。調整する際は、戸が閉まる速度をこまめに確認しながら調整してください。

ご注意 駆動ギアユニットのトルク調整ねじは弱方向には回せません。

■フリースッパー機能のオンとオフ

戸を閉めた状態で切替レバーを傾けると、フリースッパー機能をオフにすることができます。



ご注意

フリースッパー機能の切替は戸を閉めきった状態で行うようにしてください。それ以外の状態で操作を行うと、金物が破損するおそれがあります。

■操作説明シールの貼り付け

すべての金物の調整が完了したら、引戸木口面の下側に「ご入居様向け操作説明」シールを貼ります。

